

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

- 自主・創造・共生
- 自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】
 - お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】
 - たくましい心と健やかな体を育てます【体】
 - 社会とのかかわりを大切にし、共に生きる態度を育てます【公】
 - さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

- ・自ら学び、自ら考え、行動する力
- ・変化に対応し、創造する力
- ・他を認め、協働して課題解決をする力

具体化した資質・能力

- 自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】
- お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】
- たくましい心と健やかな体を育てます【体】
- 社会とのかかわりを大切にし、共に生きる態度を育てます【公】
- さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】

中期取組目標

- 1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。
- ・主体的・対話的で深い学びとなるように授業を改善するとともに、特別支援の考え方をもとに授業のユニバーサルデザイン化を図ります。
- ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。
- ・地域と連携・協働しながら、社会の一員として求められる資質・能力を育みます。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
児童生徒指導	①教職員が「児童生徒指導のスタンダード」を確認する機会を学期ごとに設定し、基本理念を念頭に置きながら生徒指導にあたる。②Y-Pアセスメントや行事ごとの生徒の振り返り等で自己有用感が高められているかを確認しながら、親和的な集団づくりに取り組む。
担当	生徒指導部

豊かな心に関わる本校の状況
『学校生活や学校行事、授業等の中で、自分の居場所や役割を感じることができる。』→3.2(令和3年度3.1)
『学級活動や委員会活動などに、クラスや学校をより良くしようという気持ちをもって積極的に取り組むことができた。』→3.3
『学校生活の中で、先生から褒められたり、友人から認められたりしていると感じることができる。』→3.0(令和4年度3.0)
※学校評価(生徒アンケート)より[4段階で評価]

今年度の目標
生徒一人ひとりの居場所・役割づくりと自己有用感の育成

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の授業の中で、協働的な学習の機会を増やすことで、生徒一人ひとりに居場所や役割をつくるとともに仲間から認められる機会を増やす。 ○集団に入れない生徒には特別支援教室への登校を促し、小集団の中での居場所や役割をつくる。 ○体育祭に向けた活動では、集団で取り組み、練習を重ねる。昨年度の振り返りから、成果が上がる種目を選択・再検討し実施する。また、異学年で取り組ませる種目を通して、上級生としての役割をつくる。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ○文化発表会に向けた活動を通して、生徒一人ひとりに居場所や役割をつくるとともに仲間から認められる機会を増やす。 ○合唱祭に向けた活動を通して、クラスメイトとのつながりを再確認し、集団での取組のよさを実感させる。